

日本をきっかけに学ぶのが好きになってきました。

サリ・ムラティ

皆さん、こんにちは。私は、サリ・ムラティと申します。日本に住んで二年目になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は学生時代、勉強に全く興味がありませんでした。学校では先生の指示どおりに勉強するだけで、家に帰ると習ったことをすぐ忘れてしまいました。だから、中学校での成績が振るわない時も、正直ありました。勉強に興味がなかった私は、どうして今、日本にいるのでしょうか。これから、その理由をお話ししたいと思います。

私がこちらにいる理由は日本です。中学校の終わりころ「姉が日本で働いている」と、友達から聞きました。日本には美しい場所がたくさんあり、外国人が働く機会を広げている、とのことでした。聞いた瞬間に、高校を卒業したら日本に行こうと決めました。実は、日本のこと『ドラえもん』と『ナルト』以外、知りませんでした。日本の音楽や映画も全く知りませんでした。それでも尚、行きたかったのです。

やがて、私は高校に入学しました。そこでは、日本での研修の選考に落ちないように、試験の点数を維持するために、懸命に勉強しました。そして、ついに卒業し、日本語の研修を始めました。『ほうれんそう』や『5S』といった文化も、仕事をする上でとても役立っています。

私は『生きがい』という日本の文化が大好きで、『生きがい』をテーマに作文を書いたほどです。インターネットで『生きがい』は、簡単にいうと『人生の目的』とありました。『生きがい』は私に、4つのことを教えてくれました。一番め「愛」、二番め「得意なこと」、三番め「社会からもらえる

こと」、四番め「社会から必要とされること」だそうです。日本に来て半年ぐらい経ってから、私は日常生活に『生きがい』を取り入れるようになりました。それ以降、私の心はとても穏やかです。日本に対して、様々な面で発見することが増えました。

電車に乗ると、多くの日本人が読書を楽しんでいます。図書館に行くと、年配の方が多くいます。職場のお母さんたちさえ仕事について、熱心にメモをとっています。こうしたこと気にづくと、もっと勉強しようという意欲がわいてきます。日本語能力試験を受けるために、仕事が終わってから、毎日3時間ぐらい勉強しました。

高校卒業後に日本を選んだことは、間違っていませんでした。勉強に興味がなくても、やる気と強い意志があれば、目標を達成できるのだと学びました。こちらにいらっしゃる皆さんも、夢を実現するためにきっと、たくさんの苦労をされてきたことだと思います。皆さんに「今までお疲れ様でした。」と伝えたいです。

身につけた日本の文化を大切にしつつ、これからも仕事が続けられることを私は願ってやみません。

ご清聴いただき、ありがとうございました。